

## 修了評価の方法

評価基準作成者：鈴木 健太

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 (テキスト1巻p. 42~415、テキスト2巻p. 2~285)</p> <p>2 出題形式 5肢択一形式及び記述形式とする。</p> <p>3 出題数 50問</p> <p>4 合否判定基準 60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 合否結果通知後、不合格者には個別指導を実施し、再試験を最大3回実施する。 再試験の合格基準は70点以上とする。(再試験受験には1回3,240円)</p>
------------	---